

平成27年度授業改善推進プラン 《技術》 西東京市立ひばりが丘中学校

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
作品づくりに集中して取り組むことができた。 また、コンピュータやソフトウェア等情報機器の基本的な取扱と利用の仕方、ものづくりの基本技術を習得することができた。	作品作りを通して、さらに実生活に役立てる視点を持たせることが課題である。

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	自らを見つめなおし、課題を見つける能力を身に付けさせること。	課題をみつける視点をもたせるための発問を工夫する。個別に指導する時間を作るようにする。計画を立てる時間を十分に確保し、見通しをもたせる。
2年生	考察能力が低い。授業に対する積極性を身につけさせる。自らの考えを発表しようとする意欲を高めさせること。	授業の導入を工夫し、興味を引きつける。実験や作品作りの中で、毎回の授業で自分を振り返る時間をしっかりとる。グループでの話し合いなどを取り入れ、自分の考えを伝える機会を増やす。
3年生	学習内容が定着しにくい。実習を踏まえながらの操作の確認をする時間の確保が課題である。	作品を作る前に実生活を踏まえて工夫できる点を考えさせたり、作品を作った後に実生活ではどこに生かされるのかを考えさせたりする。

●学校全体で取り組む内容

生活や技術に対して関心を持ち意欲的に取り組む生徒の育成、生活をより豊かなものにするため、進んで工夫し、創造する能力を身につけさせるため、生活に必要な技術・技能・知識を身につけさせるために、作品を作る前に実生活を踏まえて工夫できる点を考えさせたり、作品を作った後に実生活ではどこに生かされるのかを考えさせたりする。
--